

平成28年度熊本県学力調査「ゆうチャレンジ」 小学校第3学年 算数 出題のねらい等

連番	大問	中問	小問	領 域	学年	学習指導要領の内容等	出題のねらい	観 点				問題類別	
								算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解	知識	活用
①	1	(1)		数と計算	3年	A(2)イ 加法, 減法の計算の確実な習得	4位数+3位数の繰り上がりのあるたし算が計算できること。			○		○	
②		(2)		数と計算	3年	A(2)イ 加法, 減法の計算の確実な習得	3位数-2位数の繰り下がりのあるひき算が計算できること。			○		○	
③		(3)		数と計算	3年	A(4)ウ 除法の計算	かけ算九九を1回用いて商を求める余りのあるわり算が計算できること。			○		○	
④	2	(1)		数と計算	3年	A(4)ウ 除法の計算	かけ算九九を1回用いて商を求める余りのあるわり算の, 余りの大きさが分かること。				○	○	
⑤		(2)		数と計算	3年	A(4)ア 除法が用いられる場合とその意味	包含除の場面について, 適切なわり算の式が分かること。				○	○	
⑥		(3)		数と計算	3年	A(4)イ 除法と乗法, 減法の関係	かけ算とわり算の相互関係から, 計算の結果を確かめる方法が分かること。				○	○	
⑦	3	(1)		量と測定	3年	B(3)イ 時刻や時間を求めること	日常生活の中で, 必要となる時刻を求めることができること。			○		○	
⑧		(2)		量と測定	3年	B(3)イ 時刻や時間を求めること	日常生活の中で, 必要となる時間を求める方法を考えることができること。		○				○
⑨	4	(1)		量と測定	3年	B(1)ア 長さの単位	長さの単位を換算し, 必要な長さを求めることができること。			○		○	
⑩		(2)		量と測定	3年	B(1)ア 長さの単位	与えられた長さから, 必要な長さを求める方法を考えることができること。		○				○
⑪	5			図形	2年	C(1)イ 正方形, 長方形と直角三角形	直角三角形を組み合わせて, 図形を構成しようとしていること。	○					○
⑫	6	(1)		量と測定	2年	B(1)ア 長さの単位	巻き尺を用いて測定した数値を読むことができること。			○		○	
⑬		(2)		量と測定	3年	B(2) 目的に応じての単位や計器の選択	目的に応じた, 適切な計器が分かること。				○	○	
⑭	7	(1)		数量関係	2年	D(1) 加法と減法の相互関係	テープ図のそれぞれの部分の数量が分かること。				○	○	
⑮		(2)		数量関係	2年	D(1) 加法と減法の相互関係	テープ図を見て, 図に合う問題を考えることができること。		○				○
⑯	8	(1)		数量関係	2年	D(1) 加法と減法の相互関係 D(2) 乗法の式	図と式を関連付けて, ●の数を数える式を考えることができること。		○				○
⑰		(2)		数量関係	2年	D(1) 加法と減法の相互関係 D(2) 乗法の式	おはじきの数え方を, 図と関連させながらたし算とかけ算の式を用いて考えることができること。		○				○
⑱	9	(1)		図形	2年	C(1)ウ 箱の形	指定された箱の形を作るために必要な面を, 適切に選ぶようとしていること。	○					○
⑲		(2)		図形	2年	C(1)ウ 箱の形	指定された箱の形を作るために必要な棒や粘土玉の数が分かること。				○	○	
⑳	10			数と計算	3年	A(1)ア 万の単位	数直線の一目盛りの大きさに着目し, 数の大きさを考えることができること。		○				○

※ 網掛けの問題は, 過年度の調査において課題が見られた内容の改善状況を見る問題として出題しています。